

福島第一原子力発電所廃炉状況見学会開催のご案内

2019年5月22日

いばらき成長産業振興協議会事務局

8年前に事故を起こした東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の廃炉では、今後20年以上にわたり総額20兆円もの費用がかかると試算されています。また、原子力施設の廃止措置では、1基あたり数百億円の費用と数十年の期間が必要とされています。現在、茨城県内では日本原子力発電株式会社の東海発電所に加え、日本原子力研究開発機構が所有する複数の原子力研究施設も廃止措置が決定しており、長期間実施される原子力施設の廃止措置や廃炉作業をひとつの中小企業参入ビジネスチャンスと捉えることができます。

そこで、茨城県では、廃止措置や廃炉作業に興味のある県内企業の皆様を対象に、福島第一原子力発電所の廃炉作業への参入可能性を探るため、下記のとおり「福島第一原子力発電所廃炉状況見学会」を開催します。

参加を希望する会員様におかれましては、別紙によりEメールにてお申込みください。

記

- 1 日時 2019年6月26日(水) 13:00～16:45
- 2 場所 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所および廃炉資料館
(福島県双葉郡富岡町大字小浜字中央378)
http://www.tepco.co.jp/fukushima_hq/decommissioning_ac/
- 3 主催 いばらき成長産業振興協議会(共催 県内中性子利用連絡協議会)
- 4 日程等 ※大型バスで移動します。(ひたちなかテクノセンター集合・解散です。)
09:30 ひたちなかテクノセンター1階ロビー集合(身分証明書持参確認)
09:50 ひたちなかテクノセンター 出発(大型バスで移動)
日立南ICから広野ICまで高速走行、途中PAで随時休憩
12:00 東京電力HD(株)廃炉資料館 到着
廃炉資料館隣のさくらモール富岡で休憩・昼食(各自ご対応願います。)
13:00 福島第一原発廃炉状況見学会開始
(東京電力HDご提供のバスで移動)
16:50 見学会終了、廃炉資料館 出発
広野ICから日立南ICまで高速走行、途中PAで随時休憩
19:00 ひたちなかテクノセンター 到着、解散
- 5 参加費 無料
- 6 定員 20名(先着順、各社1名)
- 7 申込期限 2019年5月30日(木)午後5時まで(ただし、定員になり次第締め切ります。)

問合せ先

(株)ひたちなかテクノセンター 栗原、大高

電話: 029-264-2200 メール: kurihara@htc.co.jp ootaka@htc.co.jp

(別紙)

申込先：ひたちなかテクノセンター 栗原行き

(Eメール：kurihara@htc.co.jp)

**福島第一原子力発電所廃炉状況見学会
参加申込書**

(申込期限：5月30日(木))

以下の情報をご記入ください。【 】内は記入例。

性別 【女】:

氏名 【東電 花子】:

フリガナ 【トウデン ハナコ】:

生年月日 【1970/1/31】:

国籍 【JPN(国籍コードで記入)】:

所属(役職)【東京電力株式会社原子力・立地業務部原子力調査グループ グループ長】:

会社住所 【東京都新宿区新宿1-1-1】:

当日持参する身分証明書記載の住所 :

自宅電話番号 【03-6373-1111】:

今回の1F視察 【初めて/2回目】:

直近の1F訪問時期 【2013/6/10】:

身長(cm) 【160】:

靴のサイズ(cm) 【24】:

メガネの着用(有・無) 【有】:

1F構内立入許可証 【ある方のみ番号入力】:

本人確認(当日持参するものを選ぶ)【運転免許証/パスポート/写真付きマイナンバーカード/
写真付き住民基本台帳カード/在留カード/特別永住者証明書】

:

当日連絡できる携帯電話番号:

連絡先Eメールアドレス:

(留意事項)

- ・当日は、参加される方々の企業名・氏名・部署・役職を記載した名簿を各参加者及び県担当者に配付いたします。
- ・人数を各社1名、先着順とさせて頂き、申込み多数の時にはお断りする場合がございます。

1. 事前の申請手続きについて

※ご視察当日は下記2. (1)の身分証明書のいずれかで本人確認をしますので、ご視察者名簿には身分証明書の記載内容と全く同じ表記で都道府県名から入力して下さい。

①住所・氏名は、当日持参する身分証明書の記載と同じ内容・表記で入力する。

※ 氏名は字体を簡略せず身分証明書と同じように入力をする。

②所属する企業名と役職名または団体名を必ず入力する。

※ 職業として収入を得ている所属先を記載していただきますが、「無職」、「主婦」等の職種が無い場合、その場合には視察団体名を入力してください。

③自宅電話番号は、本人と必ず連絡がとれる固定電話もしくは携帯電話等の番号を入力する。

(***-****-****)

④生年月日は西暦で記載する。例(19**/**/**)

⑤直近の1F 訪問時期は西暦で記載する。例(19**/**/**)

2. 本人確認について

(1) 本人確認で認められている身分証明書は下記の5種類となります。いずれも所持をされていない場合は、必ず事前に視察調整窓口までご相談下さい。

①運転免許証

②パスポート

③マイナンバーカード(写真付)

④写真付き住民基本台帳カード

⑤在留カード(特別永住者証明書を含む)

※ 身分証明書の有効期限が切れているものは認められません。

※ 上記以外の証明書(運転経歴証明書、船舶、国際ライセンス免許等)は認められません。

(2) 視察日当日に本人確認をさせていただきますので、必ず提出されたご視察者名簿で選択した身分証明書の原本(写しは不可)を持参して下さい。

また、身分証明書の写しを取得させていただきますので、ご承知おき下さい。

(3) 当日、身分証明書の原本をお忘れになり、本人確認ができない場合には、発電所内へ入ることが認められません。

その他の注意事項(必ず視察者全員がお読みください。)

(1) 災害・トラブル事象等発生時の対応について

- ・自然災害、悪天候、発電所内でトラブルが発生した場合は、防護装備の緊急着用、視察内容の変更や中止、発電所からの緊急避難等の措置が取られる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・視察中や視察前に体調や気分が悪くなった場合は、気兼ねなく速やかに案内者にお申し付けください。(発電所内での体調不良者発生は、通報事案となりプレス対象となります)

(2) 発電所内への撮影機材の持ち込みについて

- ・発電所内は、カメラ等撮影機材の持ち込みは禁止となっております。
- ・携帯電話やスマートフォン等、撮影機能のある機器についても持ち込みを禁止させていただきます。
- ・当日は、案内者がカメラを携行いたしますので、撮影のご要望がありましたらお申し付けください。核物質防護管理上問題ないことを確認した後に写真データを送付させていただきます。

(3) 報道関係者について

- ・報道関係者の同行は原則としてお断りしております。

(4) 服装について

- ・服装は、『長袖』及び『長ズボン』を必ず着用または持参して下さい。
- ・万一の放射性物質の肌への付着を極力避けるため、肌の露出のある半端丈（七分袖、裾、穴あき古着等）やスカート、素足での発電所内への入構はできません。
- ・足元は靴下を着用の上、靴は、靴底が平らなもの（サンダル、下駄、ヒールのある靴は不可）でお越し下さい。尚、視察ルートによっては厚手の靴下を履いて頂くようお願いすることがございます。

(5) 放射線管理について

- ・放射線管理が必要な区域へ立ち入るため、当社の指定する放射線防護装備および個人線量計の着用をお願いします。
- ・発電所内には高線量エリアがあり、様々な廃炉作業が行われていることから、視察中は案内者の指示に従って行動して頂きます。案内者の指示に従って頂けない場合は、視察者の安全の確保や法令遵守の観点から視察を中止させて頂きます。

※ 放射線量の高い区域（1mSv/h 程度）を通過することがありますので、あらかじめご承知おき下さい。

- ・放射性物質による身体への汚染が無いことを確認するため、体表面モニタを通過して頂きます。これは、機器による自動測定となりますので、案内者の指示に従って測定をして頂きます。
- ・皮膚に創傷のある方は、皮膚から体内に放射性物質を取り込む可能性が否定できないため、視察できない場合があります。

・6ヶ月以内に医療機関にてR I 投与等の放射線治療をされている方は、汚染検査の時にR I 投与剤の体内残留の影響により誤検出する場合がありますので、事前にその旨を連絡して下さい。

※ この場合は、R I 投与の理由と投与日等をご連絡頂くこと、また体内残留等不明な場合は、発電所内入域前に身体スクリーニングを実施させて頂きます。

※ 治療中の方については、発電所内視察をご遠慮頂くこと、また治療完了の方についても、体調回復期間を考慮して6ヶ月としています。

※ 過去の事例；ヨウ素125線源使用（永久挿入）による治療患者で、臀部付近、GM管で1500カウント（約10Bq/cm² 相当）の視察者がおりました。

(6) 身体的な配慮について

- ・視察をされる上で配慮が必要な持病、身体的障害をお持ちの場合、支障のない範囲で事前に連絡して下さい。（ペースメーカー等）
- ・万一の場合には可能な範囲で応急処置やサポートをさせて頂きますが、あくまでも廃炉作業の現場であることを理解して頂き、最終的にはご自身の責任で対処して頂く必要がありますのでご了承下さい。

(7) 手荷物、貴重品（装飾品含む）、飲食物等について

- ・手荷物、貴重品（装飾品含む）等は、極力発電所内に持ち込まないようお願いします。
放射性物質が付着して汚染が確認された場合には、返却出来ない可能性があります。
- ・手荷物や貴重品（装飾品含む）等は、会議室もしくはロッカーで施錠管理して厳重に保管します。
- ※ 天然鉱石を含む数珠ブレスレット、年代物の時計、磁気ネックレス等の装飾品は、自然放射線の影響により、汚染検査時に誤検出の一因になりますので、発電所内への持込みを禁止します。
- ・飲食・喫煙については、発電所内の指定場所にて可能ですが、視察者については、飲食物（飴、ガムかみのまま入域厳禁）の持込みを禁止します。